

ノートパソコンの購入について(建築学科)

福岡大学では BYOD (Bring Your Own Device) を推進しており、全学部生が一人一台のノートパソコンを所有し、授業など日常で活用されることを目指しています。工学部においても、講義・演習やレポート・プレゼンテーション作成等に個人所有のノートパソコンを活用しますので各自準備してください。

建築学科における留意事項・推奨スペックは下記のとおりです。なお、福岡大学では Microsoft Office やウイルス対策ソフトを学生の皆さんに無償で提供しております。そのため、これらのソフトウェアをご自身で購入する必要はありません。

記

● 推奨スペック

CPU	Intel Core i7(※第 12 世代以降を推奨) AMD Ryzen 7 Apple シリコン M4
メモリー	16GB 以上 (※32GB を推奨)
ストレージ	SSD 256GB 以上 (※NVMe 接続 SSD を推奨)
ディスプレイ	14 インチ以上、フル HD (1920×1080 ピクセル) 以上を推奨 (※画面は大きい方が作業しやすいですが、持ち運びが不便になります。)
グラフィックカード (GPU)	VRAM 6GB 以上 DirectX11 互換のグラフィックカード
その他	無線 LAN、マウス(※スクロールホイールのある複数ボタン付きを推奨)

● 留意事項

- ・ 建築学科では 1 年生の選択科目「造形実習Ⅱ」、2 年生の選択科目「建築 CAD」「建築情報」で Autodesk Fusion、ライノセラス、ArchiCAD、などの専門的なアプリケーションを利用する実習科目を提供しています。また、3 年生の必修科目「建築設計演習 B」においては CAD/BIM を利用した課題製作に取り組みます。
- ・ グラフィックスカード (GPU) は、CAD (コンピュータ支援設計) や BIM (ビルディング・インフォメーション・モデリング) などのグラフィックに特化した計算を行うメモリーカードです。これを CPU とは別に搭載しているパソコンでないと、アプリケーションがスムーズに動作しない可能性が大です。
- ・ そのため、WINDOWS の場合は、CPU のほかに NVIDIA か AMD のグラフィックスカードを搭載している機種を選ぶことを推奨します。MAC の場合は、CPU + GPU となっているので、CPU の性能が上がれば付随して GPU の性能も上がります。MacBook Air は、持ち運びには便利ですが、コンピュータに高負荷がかかった場合、本体にファンが内蔵されていないため、本体内の熱を効率よく排出できず、コンピュータの処理能力が低下する可能性があります。
- ・ スペックは高いほど、アプリケーションが快適に動作します。
- ・ ArchiCAD のアプリケーションについては、グラフィソフト社から学生版は無料で提供されています。その他のアプリケーションは、大学が取得したライセンスを使用するため費用負担はありません。